

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



「戦争国家」を許さない運動を地域に広げよう 安保破棄・全国代表者会議で交流深める

安保破棄中央実行委員会は2月14日、東京の全日本民医連会議室を会場にオンラインを兼ねて全国代表者会議を開きました。会議には、26都道府県と加盟中央団体など44人が参加しました。

衛藤浩司全労連常任幹事が開会あいさつし、いまの情勢のもとの日米安保条約廃棄の運動の重要性を訴えました。

東森英男事務局長が報告し、「安保3文書」の具体化の本質について、憲法の蹂躪による「戦争国家づくり」だと批判し、当面、全国で共通にとりくむ重点課題として、①弾薬庫新增設など自衛隊基地強化や自衛隊・米軍による民間空港・港湾使用などを許さないための調査・監視・告発、②辺野古代執行裁判で最高裁に対する公正判決を求める団体署名、③「日本のどこにもオスプレイはいらない」の国会請願署名を広げる、などを提起しました。

沖縄県統一連の瀬長和男事務局長が特別報告し、辺野古をめぐるたたかいや自衛隊基地強化の実態を報告し、全国の支援強化を訴えました。

各地・各団体から、横田基地のオスプレイ配備撤回と都知事選に向けたとりくみ(東京)、相馬原での日英合同演習反対と県内キャラバン(群馬)、木更津オスプレイ配備撤回と他国軍との降下訓練反対運動(千葉)、横浜ノースドックへの米揚陸艦配備反対の共同

2024-No.5
2024年2月16日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765



した運動(神奈川)、沖縄ツアーと日米地位協定改定自治体意見書運動(愛知)、佐賀空港へのオスプレイ配備反対のたたかい(佐賀)、51回となる辺野古への連帯行動と各地の平和のとりくみ(全日本民医連)、日本平和大会や学習運動、自衛隊名簿提供裁判、武器輸出拡大反対署名(日本平和委員会)が報告されました。

討論では、各地での運動が交流されました。

日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員が連帯あいさつし、自民党裏金問題など国政をめぐる情勢の報告と辺野古をはじめとする沖縄のたたかいを紹介しました、

木下興全日本民医連事務局次長がまとめ・閉会あいさつをおこない、会議での交流を踏まえた運動の強化を訴えました。